

看護学科 教員養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

本学では、以下のような取り組みを行っています。

教職課程委員会

教職免許状に関わる学科の担当教員と教務課の教職課程担当者等で構成されています。入学時のオリエンテーションから免許状取得まで、学生の支援を検討しながら支援の実践化を図っています。

各種ガイダンス

入学時、実習前・履修カルテ説明会等のガイダンスは、看護学科教職課程担当者を中心に、他学科教職担当者や教務課の担当者全体で学生を支援しています。その際、現職教員及の講話を積極的に取り入れるなど、現場の先生方の声を学生に届けるようにしています。

ボランティア活動

子どもに関わるボランティアなどを推奨しています。

教員志望者及び既卒者へのサポート

教員採用試験に向けて、希望者に対して、一般教養及び教職教養の講座（夏季）、面接や集団討論などの講座（春季）を実施しています。また、教員志望者及び既卒者を対象に、面接・小論文・場面指導など個別相談に応じています。

学科別の取り組み

【看護学科】

教職への意識を高めるための機会として、教職課程オリエンテーションで、学生が卒業生のメッセージを視聴したり、4年生の実習発表会を3年生が参加できるよう計画したりしています。講義では、児童生徒と触れあいや現場の先生の実践を学ぶために、小学校を訪問する機会を設けています。ボランティアとしては、小学校における一次救命処置の授業に協力したり、中高等学校における身体測定に協力したりしています。